

# 加佐

学校だより 6月号

令和元年5月31日

舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

<http://kasa.maizuru.ed.jp/>



## 計画 - 体験 - 振り返り - 改善

5月の1年生校外学習・2年生職場体験学習・3年生修学旅行では、事前の準備から丁寧に取り組み、それぞれ充実した内容で終わることができました。3年生では中学校での学びの締めくくりとして旅行全体を通して、ルール・マナー・時間の厳守など「実社会で求められる所作」はもちろん、さらに各活動の場面に応じて「安全で円滑な班別行動」や「長崎での平和祈念」「ふるさとまいる紹介」等のねらいがあり、素晴らしい思い出も成果も失敗も見られました。



太宰府天満宮  
令和の里で

今回の学習で高めたい力の大本とは各学年共通の「主体的に実践に取り組む姿勢」や「課題に気づき、解決する力」、そして「より良い人間関係を築く力」です。活動の振り返りでは、自信や達成感・感動・悔しさ・次への期待など、経験したそれらすべてのことを班や学級で共有して“これから”に生かします。

### 失敗を"財産"に

「人生には失敗はつきもの」という言葉と並び、そんな時に備えて組織では「想定外のことが起きた時に、それが大変なことであればあるほど、すぐに伝えなさい。」などと言われます。適切な報告・連絡によって、その新たな課題に対してチーム総がかりで知恵を絞って迅速な解決を図ることができます。

課題解決に向けた実践は、チームで課題を共有することから始めます。どこがダメだったのか、どうすれば良いのかをともに確認し検証する場です。改善策が功を奏してドラマで見るような起死回生の大逆転につながれば、きっかけとなったことはもはや「失敗」とはだれにも言われません。

真摯に一生懸命取り組んだ上でのことならば、なおさらです。「失敗は成功のもと」のことわざ通り、取組を客観的に検証して十分な対策を考えることは、いずれ次のステップにつながる大きな学び・糧となることでしょう。

5月の校外学習や中間テスト等の振り返りを日々の生活に生かし、ふるさと加佐への貢献や期末テストや夏の総合体育大会・コンクール等、次の明確な目標に向けて粘り強く力を蓄えることが6月の目当てです。「チーム加佐」の生徒たちに、6月も保護者・地域の皆様方の温かいご支援をお願い申し上げます。

舞鶴市立加佐中学校 校長 福本 浩介 教職員一同